

<保健体育科 第1学年及び2学年 内容のまとめりごとの評価規準について>

1. 体づくり運動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自分の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝えている。	・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話合いに参加しようとするなどをしており、健康・安全に気を配ったりしている。
・授業の様子 ・学習記録カード	・授業の様子や発言内容 ・学習記録カード	・授業の様子や発言内容 ・学習記録カード

2. 器械運動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしており、健康・安全に気を配ったりしている。
・授業の様子 ・定期テスト ・学習記録カード ・実技テスト	・授業の様子や発言内容 ・学習記録カード	・授業の様子や発言内容 ・学習記録カード

3. 陸上競技

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。 長距離走ではペースを守って走ることができる。 ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上運動に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習記録カード 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習記録カード

4. 水泳

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習記録カード 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習記録カード

5. 球技

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子 学習記録カード 定期テスト 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習記録カード 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習記録カード

6. 武道

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 剣道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子 学習記録カード 定期テスト 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習記録カード 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子や発言内容 学習記録カード

7. ダンス

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴の踊りを捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、交流などの話合いに参加しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・学習記録カード ・定期テスト ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子や発言内容 ・学習記録カード